

スナッグゴルフ

特徴

スナッグゴルフは、どこでも誰でもゴルフの基本を学ぶ、あるいは教えることができる用具とプログラムを開発することを目的に、元PGAツアープレイヤーによって開発されました。

スナッグは、ゴルフの基礎的要素をすべて持ち合わせており、広さの限られている場所でも十分に楽しめるスポーツです。

ゴルフの基本技術である「フルショット」「ピッチショット」「チップショット」「パッティング」を楽しく正確に習得できるための工夫が施されているほか、マナーやエチケットについても学ぶことができます。

コート大きさや使用する道具

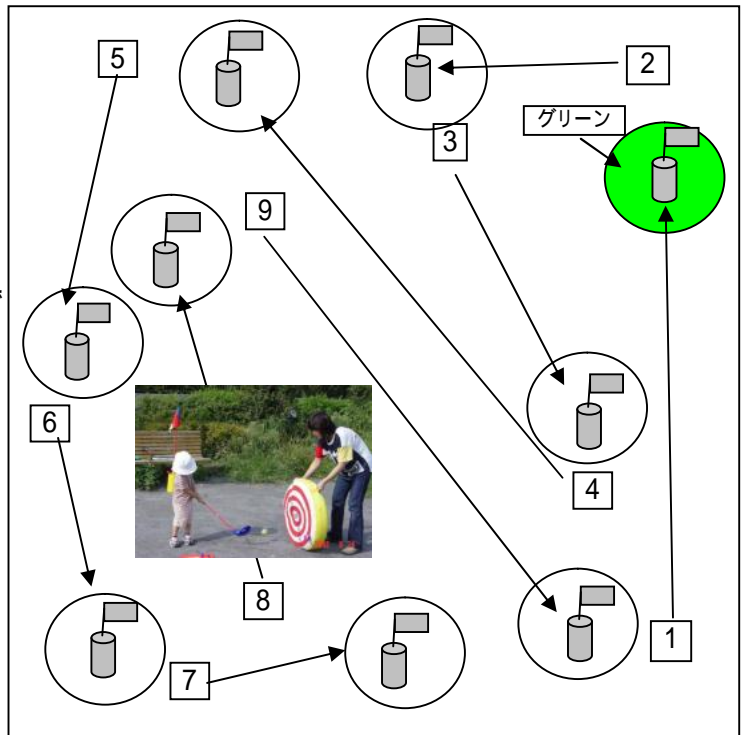
ランチャー：フルショット・ピッチショット
チップショットに用いるクラブ

ローラー：パッティングに用いるクラブ

ボール：テニスボールより一回り小さい表面が毛羽立ったボール

ランチパッド：ボールを打つ際に用いるマット。

フラッグ：ボールがくっつくように作られた目標
フラッグにボールがくっついた時点でホール終了となります。



ルール・競技規則など

スナッグゴルフでは、ランチャーとローラーの2本のクラブを使用する。

ランチャーを使用する場合は、ランチパッドというゴム製のマットを使用する。また、グリーン内では必ずローラーを使用する。(ローラーは、グリーン以外では使用できません。)

2打目以降は、グリーン内にボールが入るまで、「ランチパッド」を持ち歩き、ボールのすぐ後ろにランチパッドを置いて、ボールをティーアップして打つ。

グリーン上では、ボールの位置を動かすことはできない。

ただし、他のプレイヤーがローラーを使用する場合の妨げになる場合、ボールのある位置にマーク(平たいコインのようなもの)を行い、ボールを一時的に取り除くことができる。他のプレイヤーが打ち終わったら、マークの位置にボールを戻して、プレーを行う。

ボールが、フラッグにくっついた状態を「スナッグアウト」といい、そのホールが終了となる。ボールが一度フラッグにくっついて、反動で離れた場合は、スナッグアウトとはならない。

詳しい内容を知りたい場合

スナッグゴルフジャパン株式会社 ホームページ <http://www.snaggolf.jp/01aboutsnaag/01.html>